

中学校区におけるめざす子ども像

堺市立 八田荘西小学校

校長 今村 智也

「確かな学び」「豊かな心」「健やかな体」を育みながら自他ともに尊重し、自ら考え、行動できる子ども

豊かな心を持ち、学ぶことに喜びを持つ子どもを育てる 一人間性豊かな子どもの育成をめざして～ 学びの主人公 ～自らつなげるねばる自己決定する子どもの育成～

本校の児童は、学びに対して受け身であるという課題がある。そのことが学習意欲や学力の定着につながらない要因のひとつであると考える。そこで、堺市の取り組みの一つである「学びのコンパス」との連携を図りながら、児童自らが、学習や心身の成長をデザインしていくことで、意欲的・主体的に取り組んでいけるようにしていきたい。具体的には、各教科における学習において、各単元の学びのゴールに向かって、自分なりの方法で学習を進めていくことを最終目標として設定し、今年度はまず、いくつかの選択肢を設定し(教師が設定したり、児童が設定したりする)、自らの学びにふさわしいものを選択していくことから取り組んでいきたい。

豊かな心・健やかな体の現状
肥満傾向が少ないことや運動場で遊ぶ子どもが一定数いることは、学校としてのよさとしてあげられる。しかしながら、昨年度は、体力テストにおいて、全国平均を超える種目が少ない状況にあった。中・高学年の子どもは持久力や跳躍力で、低学年の子どもは握力や走力の課題が継続してみられている。そこで、縄跳びやかけ足の取り組み、休憩時間の外遊びの奨励などに加え、「ななまづくり」による異年齢集団による外遊びなど、体を動かす場を様々な機会をえらって推進していきたい。また、総合学力プロフィールからは、「朝食をとっていない」、「入眠時間のばらつき」、「SNSやゲームとの付き合い方」に未熟さがみられる。そこで、生活科・保健体育・家庭科・総合的な学習の時間等での学びから、健康に対する意識向上及び、態度面の育成を図りたい。

Table with 10 columns: 大項目, 中項目, 具休目標, 具体的な取組, 判断基準, 評価方法, 評価時期, 進捗確認, 達成状況(年度末), 自己評価, 学校関係者評価. Rows include '確かな学び', '豊かな心・健やかな体', '体力づくり', '居場所づくり'.

校長より(年度末)
○今年度から、学校教育目標を「学びの主人公」とし、学力向上と生きる力の育成のためには、児童が主体的に学習に向かうことが大切と考え、「自己選択」することをテーマに取り組んでいた。いろいろな場面で自己選択することを意識した学習展開を進めることで児童の意欲向上につながった。今後も進めていきたい。
○学習規律や規則正しい生活に課題が残った。保護者との連携が不可欠であることから、PTAとも協力しあって、来年度以降も啓発活動に引き続き取り組んでいきたい。
○「八田荘学校群」により、交流など様々な取組ができ、児童間や教職員間において、少しずつお互いの理解が進んでいる。来年度も引き続き、様々な交流を通して、八田荘中学校進学を見据えた9年間のより良い学びを、八田荘小学校や八田荘中学校と連携しながら進めていきたい。

学校関係者評価者から(年度末)
・ICT活用が進むと同時に図書を活用する機会が減っていると感じる。情報収集にICTはともて便利だが、それだけに頼りすぎず様々な情報源を活用し、正しい知識を得られるようになってほしい。
・「西っ子まつり」では、2年生～6年生のどの学年でも、生活科や総合的な学習の時間での学びを基にしたお店を出し、お客さんが楽しめるような様々な工夫が見られた。また、それぞれの学年がどのようなことを学んできたのかもよく分かった。
・ななまづくりなどの異学年交流は、高学年は低学年に対して優しく接することができ、心が成長するといい活動だと思う。これからもこのような取組を大切に続けてほしい。
・あいさつは人間関係づくりの基本である。高学年になるにつれ恥ずかしさが出てくる子どももいると思うが、学校として指導し続けてほしい。
・教職員が元気で子どもたちのために仕事ができるように、働き方改革を進めてほしい。